

令和7年度

事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み書類

(令和7年4月1日から令和8年3月 31 日まで)



公益財団法人郡山コンベンションビューロー

令和7年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー事業計画

1. 基本方針

現在、経済状況を訪日外国人の数と消費額で見ると令和6年度の1月～9月では、過去最高であると報じられている。このことは、今後のMICE催件数の伸び、また、それに伴う経済波及効果の増加も期待される。

全国各地でのMICE誘致活動はこれまでも激しいものであったが、「コロナ禍」を経て改めて対面の価値を認識したことから、首都圏での営業や関係団体との合同商談会に参加するなど積極的な事業展開を図る。

当財団では、これまで同様、MICEの積極的な誘致・支援活動を展開し、郡山地域全体の元気と活力の創出を図っていく。また、県内賛助会員自治体との連携のもと、会議の主催者や参加者を中心に、エクスクーリションメニューにテクニカルビジットを加えた観光資源の周知に取り組み、県内全域にわたる活性化に寄与する。

2. 令和7年度 事業計画

当財団の柱となる誘致活動は、首都圏での営業や地方支部への積極的な営業の実施、「Japan MICE EXPO 2025」への出展による関西地区での営業展開、「地方都市コンベンション関連団体ワークショップ」への出展、東北地区コンベンション推進協議会、JCCBとの連携強化を一層進める。また、これまでに郡山で開催された国際会議や会議等の実績を基に、新たな国際会議・学会・大会、企業ミーティングなど各種会議、スポーツコンベンションについても積極的な誘致を図る。

さらに、大学や研究機関の施設に出向いて開催する「出張コンベンション相談会」を通して主催者へのアプローチを図るとともに、会場や支援内容、観光等をPRし、郡山地域での大会等開催について関係者が立候補・推薦しやすい環境の醸成に努める。

支援体制については、主催者の意見・要望等を踏まえ、魅力ある支援や効率的な開催について調査研究を行い、主催者に寄り添った支援を継続する。

特に、国際会議では、英文マップをはじめとする支援物品の製作・提供のほか、きめ細かい開催支援で他都市との差別化を図る。

さらに、開催助成金の維持継続を図るとともに、地域内の消費拡大を図るため、主催者へ臨時売店や地元飲食店のPRを積極的に行い、経済波及効果の増進に努める。

(1) 誘致支援活動 (◎は重点施策、下線部は新規事業)

①コンベンション誘致事業の推進

◎首都圏への誘致セールスの実施 (オール郡山体制での営業活動)

◎国際会議誘致に向けた営業強化

・郡山市で開催された国際会議が2023年度、2024年度「国際会議誘致・開催貢献賞」国際会議開催の部を2年連続で受賞した実績をPR

・国際会議主催者へPR

◎地方支部等への誘致セールスの強化

・東北支部、福島県支部、郡山支部等への営業活動

◎「郡山コンベンション相談会」「出張コンベンション相談会」の開催

- ◎ J C C B など関連団体が主催する商談会への出展
 - ・ J A P A N M I C E E X P O 2 0 2 5 (大阪)
 - ・ 「国際 M I C E エキスポ (I M E 2 0 2 6) 」
 - ・ 「東北地区 M I C E 誘致商談会」
- ◎ 地方都市コンベンション関連団体主催の「合同ワークショップ」への出展並びに
合同セールスへの参加
- 2 次交通の利便性向上に関する関係機関への働きかけ
- フリー W i - f i などハード整備に関する関係機関への働きかけ
- スポーツコンベンションの誘致推進
- 主催団体キーパーソンの招聘、施設見学、懇談会の開催
- 福島県内コンベンション関係団体との懇談会の開催
- 郡山地域コンベンション施設連絡会の開催
- 開催助成金の積極的な周知
- 助成制度の拡充に向けた調査研究

② コンベンション支援事業の推進

- ◎ コンベンション支援内容の周知促進
- 国際会議開催に対応した支援物品の製作・提供、支援
- 各種助成金の交付
 - ・ コンベンション開催助成金
 - ・ スポーツコンベンション開催助成金
- M I C E セミナーの開催
- コンベンションサポーターの育成
 - ・ 文化財、旧跡、観光施設、ホープツーリズム等の視察研修会の開催
- アフターコンベンションの充実
 - ・ ホープツーリズムの積極的な活用
 - ・ 賛助会員市町村の観光資源の周知
 - ・ 産業観光コースの周知
 - ・ 魅力ある「ユニークベニュー」の研究
 - ・ 郡山エリアの特性を生かした多彩なエクスカーションプログラムの造成
- 感染症防止など安心・安全対策支援物品の貸出
 - ・ マスクや消毒液など感染防止グッズの提供
 - ・ サーマルカメラの貸出
 - ・ 非接触型体温計の貸出
- 支援ツールの充実
 - 1) 一般支援
 - ・ コンベンションバックの提供 (有料)
 - ・ ビニール製袋の提供 (無料)
 - ・ ビジターズガイド、うまいもんガイド等各種パンフレットの提供
 - ・ ネームプレート等会議備品の貸出

2) 特別支援

- ・ 歓迎看板の掲出／会場前・郡山駅・磐梯熱海駅・福島空港
- ・ 歓迎紙の掲示／ホテル・飲食店
- ・ 懇親会支援／アトラクション、樽酒、盛花、ステージタイトルの提供
- ・ コンベンションサポーターの派遣
 シャトルバスへの誘導
- ・ 臨時売店の充実
 一般社団法人郡山市観光協会
 仙台ターミナルビル株式会社エスパル郡山
 公益財団法人福島県観光物産交流協会
 郡山酒造協同組合 ほか

◎主催者への賛助会員企業の積極的な紹介

○一般社団法人郡山市観光協会との連携強化

○公益財団法人福島県観光物産交流協会との連携

③ コンベンション関連事業への支援強化

○外国人向け観光PRツールの調査研究

○日本遺産魅力発信推進事業「一本の水路」への協力

(2) 調査研究活動

①開催意向調査、波及効果調査

○コンベンション（MICE）開催意向調査

○主催者及び参加者に対するアンケート調査及び対応

○経済波及効果の算出

○主催者及び営業先データベースの整備

○コンベンション先進地の調査・研究

○各種フォーラムへの参加

○自然災害や感染症対策に関する調査研究

②組織強化

○職員研修（コンベンション関連セミナー・研修会への参加）

◎コンベンション関連機関との連携

○日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー〔JCCB〕

○東北地区コンベンション推進協議会

○福島県内コンベンション関係団体連絡会

○地方都市コンベンション関連団体

◎こおりやま広域連携中枢都市圏を含めた広域連携の推進

 近隣市町村及び企業等へ賛助会員入会の依頼

◎賛助会員の募集強化

(3) 広報宣伝活動

- 「コンベンションガイド／主催者版」「ビジターズガイド／参加者版」の製作
- 「飲食店ガイド（うまいもんガイド）」の製作
- 「郡山市中心市街地MAP」の製作
- 広報誌「Convention City こおりやま」の発刊（年4回）
- コンベンション情報の提供及び収集（コンベンションカレンダーの発行〔毎月〕）
- ホームページの活用と英語版ホームページの充実
- デジタルサイネージの有効活用と情報発信
 - 賛助会員市町村のイベント観光情報の発信
- 報道機関との連携強化

令和7年度 公益財団法人郡山コンベンションビューロー 収支予算
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	2,000	△ 1,000	
基本財産受取利益	1,000	2,000	△ 1,000	
寄附金収入	2,000	2,000	0	
基本財産収入	1,000	1,000	0	
寄付金収入	1,000	1,000	0	
会費収入	7,500,000	7,530,000	△ 30,000	
賛助会員会費収入	7,500,000	7,530,000	△ 30,000	
事業収入	5,868,000	5,764,000	104,000	
一般事業収益	5,868,000	5,764,000	104,000	各種広報誌広告料等
補助金収入	57,345,000	57,345,000	0	
地方公共団体補助金	37,315,000	37,315,000	0	郡山市
会議所補助金	20,030,000	20,030,000	0	郡山商工会議所
雑収益	261,000	206,000	55,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	260,000	205,000	55,000	
経常収益合計	70,977,000	70,849,000	128,000	
(2) 経常費用				
事業費	35,760,685	35,689,299	71,386	
誘致支援活動事業費(公1)	23,015,685	22,598,299	417,386	
報償費	100,000	100,000	0	セミナー講師謝礼
旅費交通費	1,596,000	1,737,000	△ 141,000	営業活動に係る旅費
需用費	4,270,000	3,916,000	354,000	各種支援経費等
委託料	0	0	0	
役務費	711,000	704,000	7,000	郵券代等
使用料及び賃借料	2,097,000	1,881,000	216,000	各種商談会出展料等
支払助成金	14,000,000	14,000,000	0	開催助成金等
什器備品減価償却額	241,685	260,299	△ 18,614	サーマルカメラ・プロジェクター
調査研究事業費(公2)	1,589,000	1,534,000	55,000	
旅費交通費	376,000	399,000	△ 23,000	研修旅費等
需用費	167,000	207,000	△ 40,000	アンケート調査経費等
役務費	501,000	394,000	107,000	アンケート調査郵券代等
負担金支出	545,000	534,000	11,000	研修会費等
広報宣伝事業費(公3)	11,156,000	11,557,000	△ 401,000	
需用費	9,842,000	9,918,000	△ 76,000	印刷製本費等
役務費	1,314,000	1,639,000	△ 325,000	広告掲載料等

管理費	35,458,000	35,420,000	38,000	
事務局運営費	27,882,000	26,392,000	1,490,000	
給料手当	22,892,000	21,600,000	1,292,000	
福利厚生費	4,986,000	4,788,000	198,000	
支払負担金	4,000	4,000	0	
会議費	136,000	216,000	△ 80,000	
役務費	14,000	14,000	0	郵券代等
使用料及び賃借料	122,000	202,000	△ 80,000	会場使用料等
事務所費	6,074,000	7,433,000	△ 1,359,000	
需用費	1,334,000	1,272,000	62,000	コピー費等
役務費	279,000	1,515,000	△ 1,236,000	電話料金等
使用料及び賃借料	4,461,000	4,646,000	△ 185,000	事務所賃借料等
什器備品減価償却額	0	0	0	全て備忘価格
一般事務費	1,366,000	1,379,000	△ 13,000	
旅費交通費	2,000	2,000	0	
需用費	283,000	293,000	△ 10,000	コピー用紙等
役務費	638,000	639,000	△ 1,000	振込手数料等
使用料及び賃借料	393,000	395,000	△ 2,000	自動車リース料等
交際費	50,000	50,000	0	
経常費用合計	71,218,685	71,109,299	109,386	
当期経常増減額	△ 241,685	△ 260,299	18,614	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用合計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 241,685	△ 260,299	18,614	
一般正味財産期首残高	131,987,382	132,247,681	△ 260,299	
一般正味財産期末残高	131,745,697	131,987,382	△ 241,685	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	131,745,697	131,987,382	△ 241,685	

(注) 科目間の流用については、理事長に一任します。

資金調達・設備投資の見込みについて
(令和7年4月1日から令和8年3月 31 日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資の予定はありません。